地域発展に必要な高等教育機関の整備・充実に向けた取組み実績・目標・スケジュール（イメージ）

資料２-①

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32～
目標・スケジュール 段階的取組（委員会報告）	検討	前期			中期			後期			
総合計画		総合計画 施策目標： 高度な専門的教育・研究を行い、地域の知の拠点としての役割を担う高等教育機関の整備・充実を進める。（①大学の整備 ②高等教育機関との連携強化 ③短大・専修学校等の整備促進）								総計実現へ	
地の拠点整備			◇ 畜大・大谷・地域連携申請（文科不採択）	◇H25 大学 COC 事業申請（文部科学省補助事業）⇒不採択							更なる展開へ
大学期成会（まちづくり会議）	◇ これまでの取組みの検証 ◇ 地域発展に必要な高等教育機関整備の方向性の検討 ◇ 情報収集	◇ 方針転換（地域発展に必要な高等教育機関整備→前期・中期・後期） ◇ 組織見直し検討（ｱﾝｹｰﾄ実施、検討小委員会） ◇ 情報収集	◇ 期成会組織の改組 ◇ 2つの専門部会設置、新会員加入、組織活性化 ◇ 部会員のｵﾗﾝﾀﾞ派遣 ◇ 部会視察 ◇ 情報収集	◇ 次期役員改選に向けた組織（理事会・専門部会）のあり方整理 ◇ 専門部会による今後の取組み方向整理 ◇ 部会視察、情報収集							
畜大との協議・連携		◇ 臨時連携協議会開催（中期的目標共有） ◇ 検討会議設置 ◇ 人材育成部会設置 ◇ 食農医連携部会設置 ◇ 意見情報交換会設置 ◇ 合同視察（ﾏﾃﾞｨｿﾝ）	◇ ﾌｰﾄﾞﾊﾞﾚｰ人材育成事業 ◇ 動物園連携会議設置 ◇ 合同視察（ｵﾗﾝﾀﾞ、岩手）	◇ 動物園連携強化 ◇ 動物園サテライト設置 ◇ 人と馬の絆プロジェクト検討 ◇ 合同視察 ◇ 新たな連携検討	◆馬プロジェクト推進						
畜大の取組み	◇ 動物園連携協定 ◇ 株 Thket 社携協定 ◇ 新 JICA 連携協定	◇ 北大との共同獣医学課程協定	◇ 帯信金・財団との共同研究 ◇ ﾁｪﾝﾏｲ大学学術交流協定 ◇ 白寿生科学研究所寄附講座 ◇ カルビー連携協定 ◇ 敷島製パン包括連携協定、とかち夢パン工房 ◇ 北大との共同獣医学課程 ◇ 獣医学整備・機能の拡充	◇ 国際認証取得に向けた取組 等（畜大内に国際認証推進室設置） ◇ バレイショ遺伝資源開発学講座開設、温室棟設置 ◇ 食品加工実習施設（ハサップ対応） ◇ 地域連携推進センター内でのインキュベーションオフィス設置（10 社分、現在 4 社入居） ◇ コーネル大学との学術協定締結 ◇ 乳製品工場が食品安全ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ FSSC22000 認証を取得	◆国際認証事前診断 ・スイス、ハンガリー、グレナダ等の欧州や米国の認証取得大学との連携を予定 ・国際認証取得に関わる施設、設備、体制整備 （想定）10 社入居、研究者・企業集積、特許取得、地域波及			◇欧州公式コンサルテーション		◇H32 国際認証申請
他の連携の可能性	◇ 早大ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ ◇ 筑波大市民公開講座 ◇ 星槎大学ｻﾃﾗｲﾄ	◇ 星槎サポステ	◇ 慶応大学アグリゼミ		次の展開検討	H27 次の展開へ H27 学習センター化へ					
その他	■ 畜大との主な協定・連携 ◇ 帯広市 H17、動物園H22、スポーツ財団 H24、JICA 帯広 H22 ◇ タイ王国チェンマイ大学 H24、更別農業高等学校 H22 ◇ 金融機関（帯広信金 H18、北洋 H18、ほくほくﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ H22） ◇ 動物園連携会議を通じた連携強化・動物園の魅力づくり（教育・観光拠点、学生実習の場）										

① 大学間連携、人材育成等の推進

国内外 大学・企業 連携

帯広畜産大学 ⇔ 帯広市

フードバレーとかちとの連動・相乗効果

② 人や企業等が集積する基盤づくり

畜大の視点
- 専門職業人の育成
- 生命・食料・環境研究の推進
- 国際化の推進
- 社会貢献の推進 等

◆人材育成の推進
◆共同研究等の推進
◆地域特性・優位性の発揮
◆人・企業等が集まる拠点

地域の視点
- 人づくり
- インキュベーション施設
- 共同研究所
- 企業誘致 等

③国内外に発信する知の拠点形成

畜大を中心にした教育研究拠点
・地域人材の育成
・新たな大学院コースの設置 等

「知の拠点形成」～フードバレーとかちの推進

地域の発展
地域産業の振興
高等教育の充実

①

② 部会意見
・「畜大知の拠点」が分かりやすく、目指す方向性が見えた感じがする。
・知の拠点の絵姿(ポンチ)をつくり、議論し、採択に向けて進めるべき。
・フードバレーとかちの推進、特に海外への輸出を意識した具体の取り組みを整理すべき。
・地元企業の振興が重要。
・産業系ばかりでなく、人材育成の視点で取組むべき。

◆知の拠点形成（教育研究拠点）
◆地域立脚型畜大大学院コースの設置 など

③
・畜大期成会とまちづくり会議は、一緒になった方が良い。
・メンバーとしては、畜大や試験研究機関、市の産業系関係部など、取り組みを具体化できるところも入るべき。

④ 部会意見

⑤ 部会意見
・視察で見てきた信州大学では、大学と企業がしっかりと結びついている。同様の機能、仕組みが必要。
・地元企業が大学と係わりが持てるようにすべき。（支援制度、窓口ーとかち財団など）

⑥

■ 早稲田大学との連携
◇ 早稲田大学「Waseda Vision 150 新たな教育・研究分野への挑戦～食・農分野」